

企画展 ライトアップ木島櫻谷II
— おうこくの線をさがしに 併設四季連作屏風



2025.4.5 (sat) -5.18(sun)

SPOTLIGHT ON KONOSHIMA OKOKU II

EXPANDED DISPLAY OF OKOKU'S SKETCHBOOKS AND FINISHED PAINTINGS
ACCOMPANIED BY THE SERIES FOLDING SCREENS OF THE FOUR SEASONS

《展覧会概要》

大正中期に大阪・天王寺の茶臼山に建てられた住友家の本邸を飾るため、木島櫻谷によって描かれた「四季連作屏風」を全点公開し、櫻谷の絵画表現の特質をライトアップする展覧会シリーズ「ライトアップ木島櫻谷」の第二弾。今回は特に、《かりくら》や《唐美人》をはじめとする櫻谷の人物画にスポットをあてるとともに、まさしく山のように残された櫻谷の写生帖をいつもより増量して展示し、櫻谷の線描の妙を探訪します。写生する線のスピード感と臨場感、本画には息の長い繊細な線からフリーハンドによる粗放ながら的確な線まで、それは息を飲むほど美しく、その大胆さには溜息をつくほどでしょう。

また同時開催として、公益財団法人住友財団が推進してきた文化財維持・修復事業助成により蘇った作品から、14世紀に描かれた仏画《十一面観音菩薩像》と、狩野山雪の代表作《歴聖大儒像》を展示し、文化財修復の最前線を紹介します。

《基本情報》

展覧会名	企画展 ライトアップ木島櫻谷II ― おうこくの線をさがしに 併設四季連作屏風 同時開催「住友財団助成による文化財修復成果―文化財よ、永遠に2025」
会 期	2025年4月5日(土)～5月18日(日) *会期中展示替えなし
開館時間	11:00～18:00 ※金曜日は19:00まで開館 ※入館は閉館の30分前まで
休 館 日	月曜日、5/7(水) (5/5・5/6は開館)
入 館 料	一般1,200円(1,000円)、高大生600円(500円)、18歳以下無料 ※企画展・同時開催展の両方をご覧ください ※学生・18歳以下のかたは証明書のご呈示が必要です ※20名様以上の団体は()内の割引料金 ※障がい者手帳等ご呈示の方はご本人および同伴者1名まで無料
会 場	泉屋博古館東京 〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1 https://sen-oku.or.jp/tokyo/ TEL:050-5541-8600(ハローダイヤル)
主 催	【ライトアップ木島櫻谷II】公益財団法人泉屋博古館、毎日新聞社 【文化財よ、永遠に2025】公益財団法人泉屋博古館、公益財団法人住友財団

《展示構成》（予定）

§1：櫻谷の写生帖、なんども繰り返し写した線の軌跡。



木島櫻谷《写生帖》より「狩衣姿の写生」
明治時代、櫻谷文庫



木島櫻谷《写生帖》より「白川花売女」
明治37年（1904）、櫻谷文庫



木島櫻谷《写生帖》より「村婦」
明治39年（1906）櫻谷文庫



木島櫻谷《写生帖》より「白拍子の写生」
明治時代、櫻谷文庫

§2：息遣い、感情、存在感…、櫻谷の線は語る。

線がそのままびく草のフォルムに



消え入りそうな
墨線のハーモニー

木島櫻谷《唐美人》
大正時代・20世紀
泉屋博古館東京

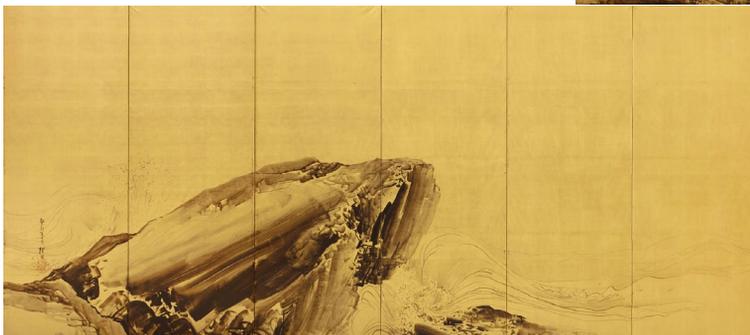


木島櫻谷《かりくら》
明治43年（1910） 櫻谷文庫



線が
無い？

木島櫻谷《帰農図》
大正元年（1912）
泉屋博古館東京



木島櫻谷《猛鷲波濤図屏風》明治36年（1903）泉屋博古館

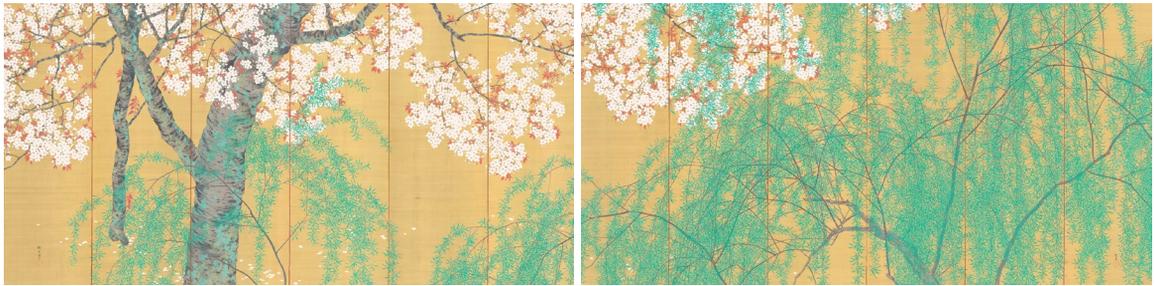
§ 3 : 線がおりなすハーモニー、住友家本邸を飾った四季連作屏風。

運筆 so cool!

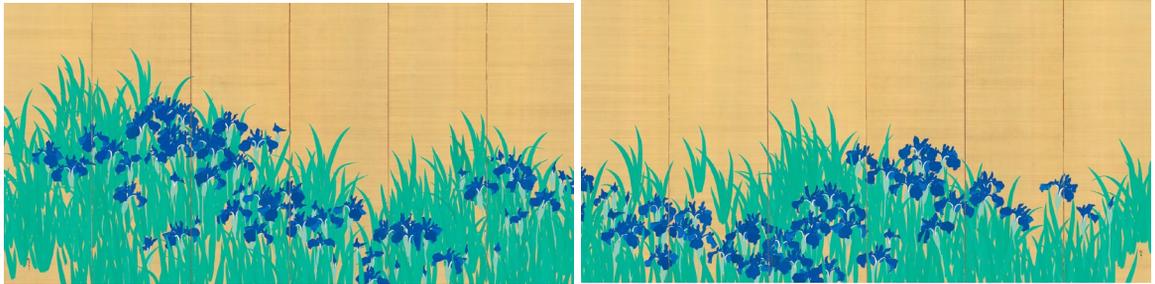


木島櫻谷《秋草図》大正12年（1923）泉屋博古館東京

筆触連鎖するフォー・シーズン



木島櫻谷《柳桜図》大正6年（1917）泉屋博古館東京



木島櫻谷《燕子花図》大正6年（1917）泉屋博古館東京



木島櫻谷《菊花図》大正6年（1917）泉屋博古館東京



木島櫻谷《雪中梅花》大正7年（1918）泉屋博古館東京

同時開催「住友財団助成による文化財修復成果—文化財よ、永遠に2025」

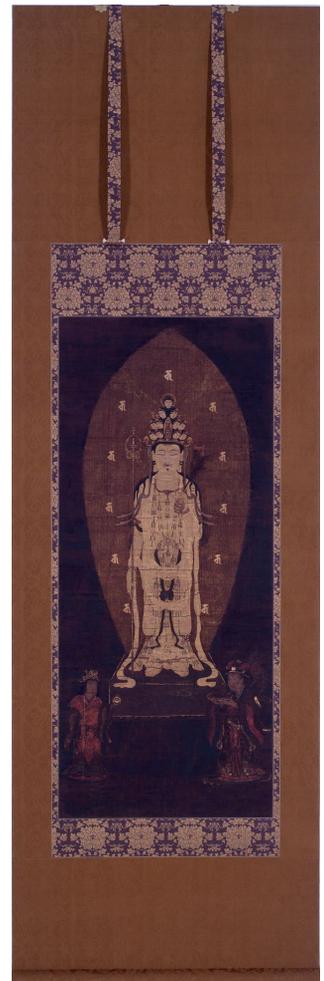
今に伝わる文化財は、その時代の修復や保存技術によって守られ、長い間の劣化や天災による損傷をくぐり抜けてきました。しかし、さらに長い時に耐え、次代に文化財を継承していくことは容易ではありません。今回の特集展示では、公益財団法人住友財団が推進してきた文化財修復助成により甦った狩野山雪《歴聖大儒像》（筑波大学附属図書館）と《十一面観音菩薩像》（ケルン市立東洋美術館）を紹介します。

現在、筑波大学附属図書館に所蔵されている狩野山雪《歴聖大儒像》は、寛永9年（1632）に朱子学派儒学者・林羅山の求めに応じて描かれました。本作は同時代の文献史料に恵まれ、発注者などの制作状況や今日に至る伝来が詳細に判明する点において極めて重要な文化財です。またケルン市立東洋美術館に所蔵されている《十一面観音菩薩像》は、細やかな截金文様が施された鎌倉時代末から南北朝時代（14世紀）の制作と考えられる長谷寺式十一面観音像の優品です。同作は近年、展示の利便性から額装へと改装されましたが、今回の修理では保存の観点から掛幅装に戻すことになりました。

本展ではこれら文化財の資料的価値を踏まえながら、絵画修理の意義とその成果について、修理道具や旧表装部材なども交えながら紹介します。



狩野山雪《歴聖大儒像》より「周子像」（左）、「程叔子像」（中）、「邵子像」（右）
寛永9年（1632） 筑波大附属学図書館
（施工会社：株式会社修護）



《十一面観音菩薩像》
鎌倉時代末～南北朝時代（14世紀）
ケルン市立東洋美術館
（施工会社：株式会社半田九清堂）

海を渡った文化財、
修復後の初公開！

《貸出可能画像・キャプション一覧》

片隻、片幅、部分図掲載の際は、
作品名の後に（右隻）等付記くださいますようお願いいたします



木島櫻谷《秋草図》
大正12年（1923）
泉屋博古館東京



木島櫻谷《柳桜図》
大正6年（1917）
泉屋博古館東京



木島櫻谷
《猛鷲波濤図屏風》
明治36年（1903）
泉屋博古館
（撮影：深井純）



木島櫻谷
《かりくら》
明治43年
（1910）
櫻谷文庫



木島櫻谷《唐美人》
大正時代・20世紀
泉屋博古館東京



木島櫻谷
《帰農図》
大正元年（1912）
泉屋博古館東京



木島櫻谷
《写生帖》より
「狩衣姿の写生」
明治時代、櫻谷文庫



木島櫻谷
《写生帖》より
「村婦」
明治39年
（1906）
櫻谷文庫



《十一面観音菩薩像》
鎌倉時代末～南北朝時代
（14世紀）
ケルン市立東洋美術館

画像ダウンロード（ARTPR）URL：<https://www.artpr.jp/senoku-tokyo/spotlightonokoku2025>

《お問い合わせ先》

泉屋博古館東京

展覧会担当：野地耕一郎（泉屋博古館東京 館長）、田所泰（泉屋博古館東京 学芸員）

広報担当：橋本旦子 TEL: 03-3584-8136 FAX: 03-3584-8137 E-mail: pr-tokyo@sen-oku.or.jp

QRコードはこちら▷▷





泉屋博古館東京

SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO